

北朝鮮による 日本人^ら^ち拉致問題

～道民一人ひとりの声を結集し

拉致被害者の一日も早い救出を～

北 海 道

1 北朝鮮による拉致問題について

1970年頃から80年頃にかけて、多くの日本人が不自然な形で姿を消しました。

これらの事件の多くには、北朝鮮による拉致の疑いが持たれています。

政府はこれまでに、17名を拉致被害者として認定していますが、それ以外にも、警察庁が拉致被害者と断定した方が2名おり、さらには、警察庁発表や民間団体（特定失踪者問題調査会、北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会）の調査によれば、北朝鮮の拉致の疑いが排除できない方々が、多数いるものと推測されます。

北朝鮮による拉致問題は、我が国の主権及び国民の生命と安全に対する重大な侵害です。

拉致被害者には道内関係者も含まれており、一日も早い救出に向けて、道民一人ひとりの声を結集し、政府の取組を後押ししていく必要があります。

2 解決に向けたこれまでの経過

2002（平成14）年9月の第1回日朝首脳会談において、北朝鮮は日本人を拉致したことを初めて認めて謝罪し、拉致被害者については「5名生存、8名死亡、2名入境せず」と日本側に伝えてきました。

同年10月、日本政府からの要求に応じて拉致被害者5名が帰国し、2004（平成16）年5月には帰国した拉致被害者のご家族の方々の帰国・来日も実現しました。

しかしながら、北朝鮮が「死亡」と説明した8名については、「死因」に不自然死が多いことに加え、北朝鮮から拉致被害者の「遺骨」として提供されたものが法医学的に別人のものと確認されるなど、死亡を裏付ける客観的な証拠がまったく提示されておらず、北朝鮮の対応には誠意が見られませんでした。

その後も政府間協議を重ね、2006（平成18）年には、内閣官房に拉致問題対策本部を設置するなど、政府は総合的な拉致問題対策に取り組んできましたが、新たな拉致被害者の帰国などは実現せずに多くの歳月が経過しました。

2014（平成26）年3月に「北朝鮮における人権に関する国連調査委員会（COI）」の最終報告が決議され、国際社会において北朝鮮の人権侵害への関心が高まりを見せるなか、同年5月にストックホルムで開催された日朝政府間協議で、政府は「（拉致被害者など）全ての日本人に関する包括的かつ全面的な調査の実施」について北朝鮮と合意しました。そして、同年7月には、北朝鮮の全ての機関を調査できる特別な権限を持つ特別調査委員会を北朝鮮側が設置しました。（日本政府は対北朝鮮措置の一部を解除）

しかし、北朝鮮は2016（平成28）年1月に核実験を強行し、2月には弾道ミサイルを発射したため、国際社会から大きく非難を浴びることとなり、日本政府が独自制裁強化を決定したところ、北朝鮮は特別調査委員会の解体と調査中止を表明しました。さらに、国際社会の警告にもかかわらず、北朝鮮が同年9月に核実験を強行したため、日本政府は、独自制裁をさらに強化するとともに、北朝鮮に拉致問題解決に向けた具体的な行動をとるよう求めています。北朝鮮は2017（平成29）年9月にも核実験を強行し、その後も弾道ミサイルの発射を繰り返すなど、誠意ある対応は見られない状況となっています。

最近では、2022（令和4）年12月に、日本政府主催の国際シンポジウムを開催し、国内外の拉致被害者のご家族の「生の声」を国際社会に訴えるほか、多国間の枠組みや二国間協議を含むあらゆる機会を通じて拉致問題に関する国際社会の理解と協力を呼びかけるなど、全ての拉致被害者の帰国実現に向けて取り組んでいます。

※詳しい情報については、政府拉致問題対策本部が運営するホームページ、<http://www.rachi.go.jp> をご参照ください。

3 拉致被害者等 ～政府認定の17名と警察庁が拉致と判断した2名

※年齢は、失踪当時

政府が認定する拉致被害者（北海道関係）

いし おか とおる
石岡 亨さん（22歳） 1980（昭和55）年5月頃欧州滞在中に失踪。

- 札幌市出身
- 1988（昭和63）年に石岡さんから家族に出した手紙によると、石岡さんのほか、松木薫さん、有本恵子さんが北朝鮮に在住するとのことであった。
- 北朝鮮側は石岡さんは1988（昭和63）年にガス事故で有本さんと共に死亡していますが、これを裏付ける客観的な証拠は一切提示されていません。



① 久米 裕（くめ ゆたか）さん [52歳・石川県] 1977（昭和52）年9月19日拉致
北朝鮮工作員の指示を受けた国内の協力者によって能登半島の宇出津（うしつ）海岸まで連れ出され、北朝鮮に拉致されました。



② 松本 京子（まつもと きょうこ）さん [29歳・鳥取県] 1977（昭和52）年10月21日拉致
鳥取県米子市の自宅から近くの編み物教室へ向かって外出したまま消息を絶ち、北朝鮮に拉致されました。



③ 横田めぐみ（よこた めぐみ）さん [13歳・新潟県] 1977（昭和52）年11月15日拉致
新潟市にいらしていた横田めぐみさんは、クラブ活動を終えて中学校から帰宅する途中で消息を絶ち、北朝鮮に拉致されました。



④ 田中 実（たなかみのる）さん [28歳・兵庫県] 1978（昭和53）年6月頃拉致
神戸市内の飲食店に出入りしていた田中実さんは、北朝鮮からの指示を受けた店主にだまされて海外に連れ出された後、行方不明となり、北朝鮮に拉致されました。



⑤ 田口八重子（たぐち やえこ）さん [22歳・不明] 1978（昭和53）年6月頃拉致
田口八重子さんは、東京・高田馬場のベビーホテルに2歳の娘と1歳の息子を預けたまま行方不明となり、北朝鮮に拉致されました。



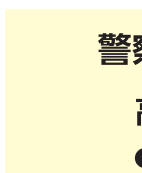
⑥ 地村 保志（ちむら やし）さん / 地村富貴恵（ちむら ふうきえ）さん [23歳 / 23歳・福井県] 1978（昭和53）年7月7日拉致（2002（平成14）年10月帰国）
福井県小浜市で、地村保志さんと富貴恵さんは、二人でデートに行くとき出かけたまま帰宅せず、北朝鮮に拉致されました。平成14（2002）年10月に帰国。平成16（2004）年5月には、子どもたちも帰国しました。



⑦ 蓮池 薫（はすいけ かおる）さん / 蓮池祐木子（はすいけ ゆきこ）さん [20歳 / 22歳・新潟県] 1978（昭和53）年7月31日拉致（2002（平成14）年10月帰国）
新潟県柏崎市で、蓮池薫さんと祐木子さんは、それぞれ「すぐ帰る」「すぐにもどる」と言って出かけたまま消息を絶ち、北朝鮮に拉致されました。平成14（2002）年10月に帰国。平成16（2004）年5月には、子どもたちも帰国しました。



⑧ 市川 修一（いちかわ しゅういち）さん / 増元るみ子（ますもと るみこ）さん [23歳 / 24歳・鹿児島県] 1978（昭和53）年8月12日拉致
鹿児島県日置郡（現・日置市）の吹上浜に「浜に夕日を見に行く」と出かけた市川修一さんと増元るみ子さんは、吹上浜のキャンプ場付近に市川さんの車を残したまま消息を絶ち、北朝鮮に拉致されました。

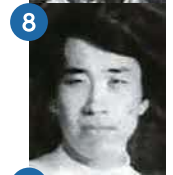


⑨ 曽我ひとみ（そが ひとみ） / 曽我ミヨシ（そが みよし）さん [19歳 / 46歳・新潟県] 1978（昭和53）年8月12日拉致（ひとみさん、2002（平成14）年10月帰国）
新潟県佐渡郡（現・佐渡市）で、曽我ひとみさん、ミヨシさん母娘は2人で「買い物に行く」と言って出かけたまま消息を絶ち、北朝鮮に拉致されました。平成16（2004）年7月に夫のジェンキンスさんと子供たちも渡日・帰国し、家族で日本でくらししていますが、ミヨシさんは、北朝鮮に拉致されたままです。

⑩ 松木 薫（まつき かおる）さん [26歳・欧州] 1980（昭和55）年5月頃拉致
スペイン留学中だった松木薫さんは、ヨーロッパ滞在中に消息を絶ち、北朝鮮に拉致されました。

⑪ 原 救屍（はらただあき）さん [43歳・宮崎県] 1980（昭和55）年6月中旬拉致
大阪府にいらしていた原救屍さんは、北朝鮮工作員・辛光洙（シン・グァンス）らによって宮崎県の青島海岸に連れ出され、工作船で北朝鮮に拉致されました。

⑫ 有本 恵子（ありもとけいこ）さん [23歳・欧州] 1983（昭和58）年7月頃拉致
イギリスでの留学を終えて帰国を予定していた有本恵子さんは、デンマークのコペンハーゲンから日本の家族に手紙が届いたのを最後に消息を絶ち、北朝鮮に拉致されました。



警察庁が判断する拉致被害者

コ キョウミ コ ガン
高 敬美さん（7歳）・高 剛さん（3歳） 1974（昭和49）年6月頃拉致

- 釧路市出身の渡辺秀子さん（特定失踪者）のお子さん。
- 警察では、必要な捜査を行った結果、北朝鮮による拉致容疑事案と判断しており、主犯として北朝鮮工作員 洪寿恵（ホン・スヘ）こと木下陽子を国際手配しています。
- 姉弟は朝鮮籍のため対象を日本国民に限定する現行法上、政府認定の対象とされていません。



4 拉致の可能性を排除できない方々(北海道関係者)

政府による拉致被害者としての認定は受けていませんが、警察庁の発表による捜査・調査対象としている「北朝鮮による拉致の可能性を排除できない事案」とする行方不明者は、2023(令和5)年1月31日現在、全国で871名、北海道警察での対象は85名(公開50名、非公開35名)となっています。

民間団体である特定失踪者問題調査会が北朝鮮による拉致の可能性を排除できない失踪者として独自に調査している、いわゆる「特定失踪者」は2023(令和5)年1月31日現在、全国で約470名を数えます。そのうち、本道関係者は55名(公開40名、非公開15名)となっています。また、「北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会(救う会全国協議会)」が、北朝鮮に拉致されたと認定している方は、2023(令和5)年1月31日現在、全国で7名であり、そのうち、本道関係者は1名(公開)となっています。

石狩市



たけやま きょうこ **道警** **特定**
武山 京子 さん
 1992・6・12 失踪(56歳)
 ※旧浜益村

ほりた とみお **道警**
堀田登美雄 さん
 1974・5・4 失踪(24歳)

岩内町



しろさき えいこ **道警** **特定**
城崎 暎子 さん
 1967・4・21 失踪(20歳)

瀬棚郡



わたなべ えいいち **特定**
渡辺 栄一 さん
 1997・11・9 失踪(42歳)

せたな町



なとり しづこ **特定**
名取志津子 さん
 1971・12・2 失踪(19歳)
 ※旧北檜山町

函館市



もり ようこ **道警** **特定**
森 洋子 さん
 1963・9・20 失踪(19歳)



ほんだ しげき **道警** **特定**
本多 茂樹 さん
 1980・5・19 失踪(26歳)

さとう こうじ **道警**
佐藤 幸治 さん
 1978・1・30 失踪(25歳)

まつなが ひでこ **道警**
松永 秀子 さん
 1958・5・11 失踪(21歳)
 ※亀田郡亀田村(現函館市)

札幌市



さいとう しろう **道警** **特定**
斉藤 四郎 さん
 1956・3・18 失踪(17歳)



やまだ たえこ **道警** **特定**
山田(阿部) 妙子 さん
 1975・8・25頃 失踪(22歳)



なが お なおこ **道警** **特定**
長尾 直子 さん
 1981・3・16 失踪(20歳)



よしだ のぶお **道警** **特定**
吉田 信夫 さん
 1965・5・25 失踪(29歳)

さとう りゅうじ **道警**
佐藤 隆二 さん
 1958・7・14 失踪(20歳)

いしぐろ あきら **道警**
石黒 昭 さん
 1979・12・8 失踪(25歳)

かとう しろう **道警**
加藤 司郎 さん
 1970・4・18 失踪(22歳)

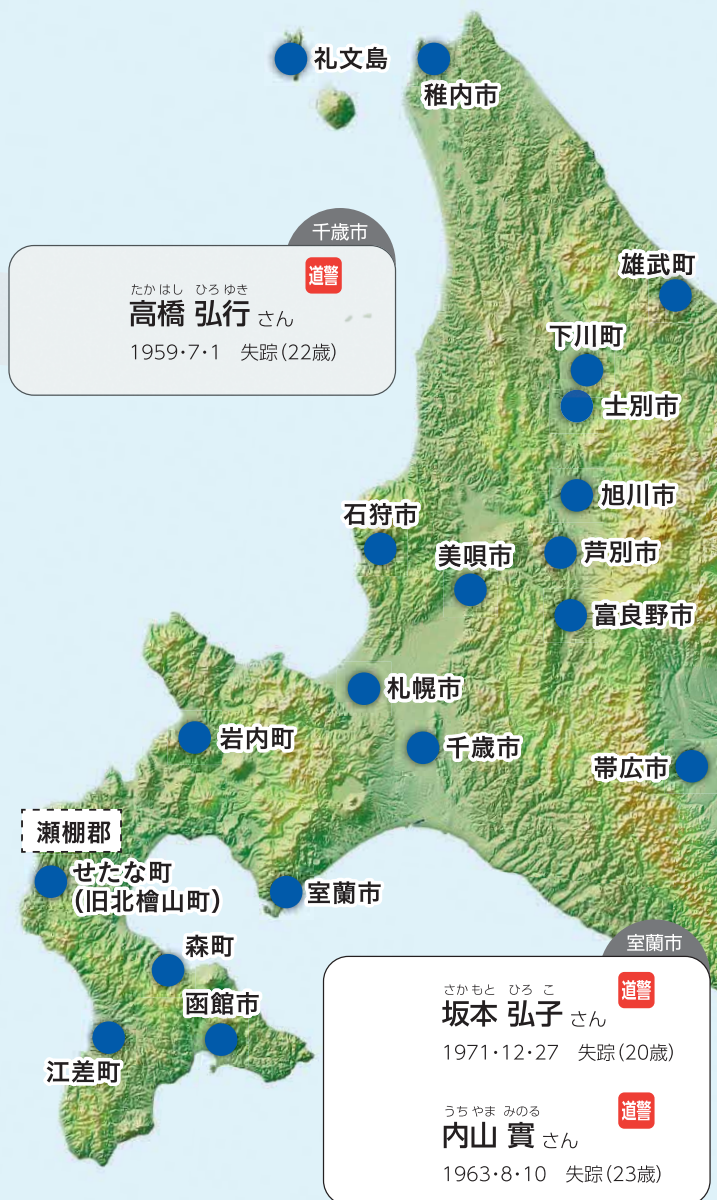
まるやま ち えこ **道警**
丸山千恵子 さん
 1967~1968年頃 失踪
 (40~41歳)

江差町

いんやく しみこ **道警**
印鑰 志美子 さん
 1976・10・5 失踪(34歳)

森 町

いのづめ まさとし **道警**
猪爪(安田) 正年 さん
 1963・6・16 失踪(3歳)



道外で失踪した本道関係者

失踪者氏名(失踪当時年齢)	失踪年月日	失踪場所	
本本 佳紀 さん(22歳)	1985・10・1	青森県	道警 特定
坂上 良則 さん(28歳)	1976・8・10	福島県	道警 特定
渡辺 秀子 さん(32歳)	1974・3	東京都	特定
石坂 孝 さん(29歳)	1988・11・20	東京都	特定
伊原 照治 さん(26歳)	1984・8・28	東京都	特定
山形 キセ さん(22歳)	1965・8月以降	神奈川県	道警 特定
大田 清 さん(18歳)	1971・1月以降	神奈川県	道警
楠本 勤 さん(52歳)	1999・12・19	東京都	道警 特定
坂井 浩司 さん(17歳)	1987・10・1	千葉県	道警
加藤 富夫 さん(20歳)	1963・3月頃	東京都	道警
小住 健蔵 さん(45歳ぐらゐ)	1980年頃	場所不明	救う会